



2007～2008年度
国際ロータリーのテーマ
RCは分かちあいの心
2007～2008年度
ウィルフレッド J. ウィルキンソン

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：岩本 成郎
幹事：西本 哲
クラブ広報委員：亀井 直人
例会日：毎週木曜日PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1345回例会

2007年11月29日(木) 曇 第21回

～R財団月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

司会：馬場将嘉会場委員
斉唱：「それでこそロータリー」

会長挨拶

岩本成郎会長

皆さんこんにちは。寒くなりました。今夜はすき焼き？

一幻の鶏一

鶏肉は名古屋コーチンでなくっちゃと昔を懐かしむ声が聞かれるようになりました。不具合だらけの世の中、食品は特に気になります。さて、尾張平野のベッドタウン・人口4万9千人弱の小さな町岩倉市は県内でも有数の養鶏の盛んな地であり、名古屋コーチンと共に発展を続けてきたとも言われます。しかし戦後、飼育コストの安いブロイラーの大量輸入により一気に市場を奪われてしまい、昭和40年代には絶滅の危機に瀕したとも伝えられています。それが今、食生活が向上してより良いおいしいもの、健康的なものへの要求が高まる中で名古屋コーチンの需要が高まりつつあります。

肉味、肉質ともに最高の幻の鳥・名古屋コーチンは食鳥として1.8～2.4キログラムの若鶏で出荷されますが、一般のブロイラーに比べ二倍以上の飼育日数(ブロイラーは二ヶ月で成長し、名古屋コーチンは五ヶ月かかります。)又、抗生物質を使わない安全な飼料作りをし飼育に当たってもブロイラーに比べ丈夫な鶏なので病気を防ぐための注射などしなくても良いとの事。「安全・安心」本物の味を兼ね備えています。赤みを帯び、適度な脂肪を含んだ弾力のある肉質、粘りのある「こく」。そして歯ごたえや香りの秘密がここにあると思います。

岩倉市の話ですが、ひなのふ化から飼育、処理、販売、料理までの業者で名古屋コーチン振興組合を設立し、名古屋コーチンの普及につとめているそうです。名古屋コーチン肉は、販売方法に特徴があります。フレッシュ肉の販売です。冷凍せず冷蔵の状態宅配し、電話で注文を受けたらすぐ肉を加工し、その日又は翌日には届けられるので新鮮ですね。

鶏肉は、牛や豚肉と違い鮮度が命と言われてます。鮮度の良い肉は、生で刺身としてショウガ醤油で食べられるそうです。鶏肉を使った料理は数多いですが、中でも昔を懐かしむ又尾張地方の誰もが最も楽しみにする献立が「かしわのひきずり」です。「ひきずり」とは聞き慣れない料理名と思いますが、簡単に言えば鶏肉のすき焼きです。ひきずりの語源には様々な説がありますが、例えば具を溶き卵に引きずり入れるように食べるから、また皆でおしゃべりしながらゆっくり時間を引きずるように食べるからとも言われます。いずれにしても味の良さが喜ばれ、尾張地方郷土料理として好んで食べられた結果だと思えます。

※名古屋の名物地鶏に名古屋コーチンとの呼び名は旧尾張藩士が生み出した新品種1905年(明治38年)名古屋コーチンと命され以来今年は102年に当たります。名古屋コーチンの飼育は手間ひまがかかり効率は悪いが、いい味でゆとりがあり、最近のスローフード流行にも重なります。



出席報告

加納 裕出席委員長

会員72名 出席46名 (出席計算人数51名)

出席率75.4%

11月22日は補填により100%

幹事報告

西本 哲幹事

- ・本日指名委員会です。13時35分から9F「つるの間」です。そして18時から「蓬萊」にて懇親会がございます。よろしくお祈いします。
- ・次週12月6日(木)はクリスマス家族会です。18時からヒルトン5F「銀扇の間」です。
- ・2008年1月30日(水)の4R合同例会の案内がメールボックスに入れてあります。早めに出欠のご返事を頂ければと思います。

臨時例会変更のお知らせ

名古屋	12/11(火)			1/1(火)※
名古屋西		12/20(木)	12/27(木)※	1/3(木)※
名古屋南	12/12(水)		12/26(水)※	
名古屋北	12/14(金)		12/28(金)※	1/4(金)※
名古屋東	12/10(月)			12/31(月)※
名古屋守山	12/12(水)		12/26(水)※	1/2(水)※
名古屋みなと	12/14(金)		12/28(金)※	1/4(金)※
名古屋東南		12/19(水)	12/26(水)※	1/2(水)※
名古屋中	12/10(月)			12/31(月)※
名古屋和合			12/26(水)※	1/2(水)※
名古屋名東		12/18(火)	12/25(火)※	
名古屋名北	12/12(水)		12/26(水)※	
名古屋千種	12/11(火)			
名古屋大須		12/20(木)	12/27(木)	1/3(木)※
名古屋栄	12/10(月)◆		12/24(月)※	12/31(月)※
名古屋名南		12/18(火)◇	12/25(火)※	1/1(火)※
名古屋名駅			12/26(水)	1/2(水)※
名古屋昭和		12/17(月)	12/24(月)※	12/31(月)※
名古屋西南		12/20(木)	12/27(木)※	1/3(木)※
名古屋錦	12/11(火)※		12/25(火)	1/1(火)※
名古屋東山	12/13(木)		12/27(木)※	1/3(木)※
名古屋葵			12/27(木)※	
あま		12/17(月)		
名古屋空港	12/10(月)		12/24(月)※	12/31(月)※
名古屋清須		12/18(火)		
尾張中央		12/19(水)		
名古屋城北		12/18(火)	12/25(火)※	

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◆はサイン受付時間が17:00～18:00となります。

◇はサイン受付が17:30～18:30となります。

ニコボックス

加納 裕ニコボックス委員長

- ・山内 拓男さん(先回のゲストスピーカー)より車代をニコボックスにいただきました。
- ・娘が公認会計士に合格し、あずさ監査法人にお世話になることになりました。息子も来年嫁さんを連れて帰ってくる予定です。

宮崎 信次さん

・妻の誕生日を忘れていました。お祝いありがとうございました。

山田 鎮浩さん

・11月28日 東京 明治記念館で全国暴力追放運動中央大会の席上、吉村警察庁長官より暴力追放栄誉銀賞を受賞しました。

鈴木 圓三さん

・今日は卓話の当番となりました。よろしくお願いします。

岩本 成郎さん

・1) 11月29日は二男の誕生日でした。

2) 本日所用で早退します。

稲葉 徹さん

名古屋市立南養護学校への寄付贈呈式(4RC合同事業)

平成19年11月22日(木)4RCから名古屋市立南養護学校への寄付贈呈式が行われ、代表して名古屋瑞穂RCから岩井 力校長に寄付金20万円が手渡されました。

岩井校長から、南養護学校の学級編成(小学部・中学部・高学部・訪問教育部)と、そこでは全生徒数のうち通学生256名と訪問生徒数5名の合計261名が学んでおり、1学級生徒6人に対して先生方が複数必要なこと、また、これからの特別支援教育についてのお話等をお聞きし、不勉強な私達にとって良い機会となりました。

寄付金は体育教育の一環に有意義に利用させていただきます、とのことでした。

※4RC出席者名

名古屋南RC : 横山高司社会奉仕委員長

名古屋東南RC : 近藤信之社会奉仕委員長

名古屋南南RC : 田中省三社会奉仕委員長

名古屋瑞穂RC : 岩本成郎会長、田中政雄社会奉仕委員長



卓話

会長 岩本成郎さん

「ロータリーを知ろう」地区大会報告 他



【ロータリーの基本用語について】

1)ロータリークラブの発端

1905年2月23日Paul Harrisが3人の友人と語らって北米シカゴで最初の会合を開いたのがロータリークラブの発端である。そしてこの日をロータリーの創立記念日としました。

2)ロータリーの名称の起こり

最初のうち会員の事務所を輪番に会合の場所としたところから、この名称がつけられた。

3)国際ロータリー(Rotary International)

全世界のロータリークラブの連合体であってロータリーの推進を目的として、ロータリークラブの活動を管理調整することをその任務とする。個々のロータリアンはその所属クラブの会員であって直接国際ロータリーの会員ではない。

4)ロータリーの綱領(Object of Rotary)

国際ロータリーの定款第3条標準クラブ定款第3条に定むるロータリーの綱領:国際ロータリーの計画はすべてこの綱領の示すところに従って行われています。

一ロータリーの綱領一

ロータリーの綱領は"奉仕の理想"を有益なる事業の根本精神

として育成し、主として次の事項を奨励するにある。

1. 奉仕の機会を作るため知り合いを拡げてゆくこと。

2. 社会に奉仕する目的を以て、ロータリアン各自の従事する商業又は専門的職業の徳義的水準を高め、その職業の真価を認識し、かつ職業そのものに権威あらしめること。

3. およそロータリアンはその個人生活、職業生活、社会生活の別なく常にこれに"奉仕の理想"を励行すること。

4. "奉仕の理想"のもとに結ばれた実業家及び専門家の世界的な友誼によって、国際間の理解と友情と平和とを促進すること。

5)ロータリーの基本方針(Fundamental Characteristics of Rotary)

新クラブ結成について国際ロータリー理事会が示した基本的な方針。この方針は1962年～63年理事会において改訂せられ、第一にロータリー綱領の推進力は各国ロータリアンにあること。第二に国際ロータリーの管理は加盟クラブ及び各個ロータリアンがロータリーの綱領を推進するに役立つような施策をなす上においてのみ必要であること。第三にロータリーの管理は加盟クラブの自主性を根本原則としていること。第四にロータリーの諸規則はロータリーの特異性を保持するに必要な最小限度に留むべきこと。第五にロータリーはどこまでもクラブ単位の国際ロータリーへの直結による運営を認め、地方的集団の運営は認めないことにしています。

次に四つのテスト(THE FOUR - WAY TEST)

Herbert-Taylor(1954～1955年度RI会長)の発案した自己反省の一つの方式で彼が1932年、破産に瀕していたアルミニウムの会社の建て直しを引き受けたときにこの方式を考案してこれを再起のための経営指針とし、これによって見事に会社を立ち直らせたと言われている。国際ロータリーはこの自己反省方式を高く評価してこれをロータリーにおける諸奉仕活動、特に職業奉仕における指針とし常用するに至ったとあります。

(4-WAY)

THE FOUR-WAY TEST

英語で言えば4通りあるとの意味もあるが、4つ合わせて一つのテストとも考えられる(sがつかない)。但し英語では単類用語であるから形容詞用法で示されているものと思います。

of the things we think, Say or do

4つのテストで確かめてから発信したり行動しましょう。

1. Is it the TRUTH?

・それは真実ですか?又はほんとうに公明正大ですか?

2. Is it FAIR to all concerned?

・本当に公明正大ですか?

3. Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP?

・より良い関係が築けるでしょうか?又は友好関係が築けるでしょうか?

4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?

・みんな(関係のある人)のためになりますか

次にロータリアンとしてあるべき姿について

1. ロータリアンは常に奉仕の気持ちを持つことが大切である。we service, I serviceの両方があるがむしろI service 私は奉仕するの方がベターである。日常の生活の中で、いつもそんな気持ちで世間を見ることが大切である。そのことが出来るのは各自の職業があつてのこと。職業を大切に繁営してこそ奉仕が出来るのである。従って、ロータリアンとして特にその人が持っている職業の大切さ、これを繁営させ大きく成長させて行くことが必要である。

職業という言葉は社会人の(定職、稼業、事業、専門職あるいは業務)を指すものである。

ロータリーは職業奉仕という言葉を使用するに当たって(Service)奉仕という文字を広い意味で使っており、単に事業あ

るいは専門業務における取引行為や販売された商品を目指すのみではなく、相手のニーズと境遇に対して正当な考慮を払い他人に対していつも思いやりの心を持つことも指している。職業奉仕は次のような言葉によって強調されている。事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきである、という認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あるよう努力育成しなければならない。ロータリアンとして大切な事は奉仕であるがそのためには職業が一番必要な事である。

まとめ

1) ロータリークラブは正に異業種の集まり、いわゆる異業種交流会の実践の場でもある。クラブ会員相互の意見交換をする機会を委員会毎に会合を持ち得意な分野においての卓話などを行い職の意を高めて行く。

2) 職業とは地域社会において貢献できること。そのために健全な職業を維持発展させること。

3) 奉仕とは団体で大きな事をする事も奉仕ではあるが、日常個々において細心を計りその範とする行動及び弱者への気配りが大切なこと。

4) ロータリーの職業奉仕とはクラブ例会と通じ会員での職場例会及び地域での職場功労者の表彰などを行い、また会員相互の職業を高揚しクラブの活性化を計る。

5) 創造力で新たなニーズに向け積極的な行動と対応で前進、技術力を高揚し豊かな社会作りに貢献する。

6) ロータリーの本質は思いやりと助け合いを友愛と奉仕の理念として組織し、そこに生きがいを持つ者の集まりがロータリーで実践に重きを置いている。

2007～2008年 第2760地区

江崎柳節ガバナーからのメッセージ CLPについて



2004年11月の国際ロータリー理事会が各クラブに対して、クラブが活性化し、安定、成長し、効果的なクラブになるためには、CLPによって毎年クラブの見直し(棚卸し)をしてみようか。これを習慣づけるとクラブが必ず良くなることをRIが検証した結果、クラブに検討するよう推奨したことに始まります。ただしRIはクラブの運営にまで干渉する立場にないから、これの検討はクラブ裁量権の中のものであることは云うまでもありません。ただし地区(第2760地区)では

来年度CLPのクラブ毎の検討、理解は必ずするようにとのことですが、これは次年度片山年度にスムーズに引継ぎできるように両者の間(江崎ガバナーと次年度片山ガバナー)で合意しているとのこと。考えてみますと、ロータリーの運営を考えて見るときに、このクラブはどんな特徴を持っていて、何処に長所・欠点があり、問題箇所をどう修正するか、ということを的確に評価する方法は特に難しいことです。ロータリーではこうあるべきの物指しはなかったと思います。それがため毎年例年並み、当たらず触らずの基本方針が中心であった事は否定できないことであります。ロータリーに変えなければならないものと、変えてはならないものがあるという常習的な言い回しの中に、変えて波紋を起こしたくないというある種の思いが入っているように思われます。

さて、CLPといわれてもその内容が正確に理解されていないのが現状です。そこでCLPが提起している5つの問題を上げて見ます

【1】クラブ管理運営

CLPとは無関係に前から当地区では注目してきた問題点であります。と云いますのは4大奉仕の中で職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕はロータリーがそのクラブの機能をかけて外に向かって奉仕する目的を持っていて、いわば奉仕の方法論を問題にしますが、クラブ奉仕は違います。全員の自己研鑽、奉仕の理念の会得、倫理の高揚、相互理解と親睦、クラブの魅力の培育、会員の増強、維持など今クラブに失われつつある最も大切な機能と効果をあらわすための「内に向かっての奉仕」であります。いわばこの奉仕はロータリーの本算論を論じ実践する自己のための奉仕です。クラブ奉仕委員長の職掌が如何に大きい事ですね。「手続要覧」には書いてあります。3大奉仕を除くクラブ管理運営の小委員会は増強を含めてクラブ奉仕委員長の職掌のもとにあります。CLPではその中で重要なことは独立させて「理事会委員会」に入れることも提案しています。

【2】奉仕プロジェクト

クラブの奉仕様態を見ますと、意外なマンネリがそのままにされていることが少なくないことに気が付きます。すでに行われているプロジェクトにロータリーが賛助、協賛、援助、顕彰しているにすぎない奉仕であります。これは時には地域の真のニーズに合っている最も良いことである場合が考えられ、一概にはいえませんが、地域奉仕はニーズを再チェックして限られた資源を、時には一点限定であっても、ロータリーらしい奉仕が求められます。地域に対する社会奉仕も、世界に対する国際奉仕も難しいこととは思いますが、それぞれのニーズを十分考慮され、限られた資源を有効に役立てたいものです。それぞれの奉仕プロジェクトではロータリーが十分吟味した有意義な楽しいプログラムがたくさん用意されています。そしてクラブだけの奉仕資源の不足に備えてロータリー財団がそれを支援する役目を始めている事を委員に理解していただく事が必要です。

【3】増強

これはいうまでもなく現状の重要事項であります。それ故にCLPではこの委員会を「理事会」委員会にするよう推奨しているのです。クラブの委員会構成で是非知っておかなければならないことは、クラブ奉仕委員長が3大奉仕委員会以外のすべてのクラブ奉仕小委員会の統括責任者である事です。そしてクラブ奉仕委員長は増強の最高責任者でもあるという職掌があり、又増強の問題を理事会では提案し勤めれば、その配下の小委である増強委員長は動きやすくなり活力を得る事になります。クラブ奉仕委員長さんは手続要項を見てその職掌を確認されると良いと思います。

クラブには3大奉仕以外でトラブルが発生した時は会長、幹事に矛先が向かないようにし、クラブ奉仕委員長がこれの解決につとめなければならない。試みに会長は審議執行の最高責任者、幹事は執行の責任者であります。クラブ内の審議、解決はクラブ奉仕委員長の専権事項であります。

【4】ロータリー財団、米山奨学会

この所ロータリー財団の存在が極めて理解されてまいりました。寄付だけでなく財団から還付される地区財団活動資金(DDF)が地区で注目されています。また米山奨学生の受け入れが今までは財団学生に匹敵する年間800人に達し、アジアを中心に多くの国家的指導者、ロータリーリーダーを輩出するに至っています。又財団の世界平和、人道救援、災害援助などロータリーが世界に誇る成果を上げつつあります。これについてはクラブの両委員長さんの卓話をいただければと思います。

【5】CLPの5項目は広報です。

広報とは自己宣伝ではなくロータリーのもつ公共イメージを高める努力とそれを地域に正しく認識してもらうことの意味の検討についてポリオプラス(Polio Plus)のもたらした壮大な成果を口

ロータリアンは知らないという現状について再検討が我々には急務ではないでしょうか。これは地区大会等に出席されますと話される機械に会う事と思います。

先ほど[4]の項でロータリー財団に少しふれましたが、

『ロータリー財団も魅力的なプログラムをそろえています』

まず当地区では急速に理解され関心を持たれているプログラムは、地区補助金制度です。ここでロータリー財団の資金の流れについて骨組みを申し上げますと、第2760地区の会員が寄進したロータリー財団寄付金は、国際ロータリーのロータリー財団に贈られます。寄付金は年次寄付金と、恒久基金とがあります。3年後に年次寄付金のうち50%が地区財団活動資金(DDF)として地区に返上されてきます。残る半分は国際財団活動資金(WF)として世界的なレベルの教育的、人道的プログラムの活動財源として使われます。これも用途は各クラブにはっきりと報告されてきます。

さて地区にはこのほかに恒久基金として会員が寄進している資金があります。これは恒久的財源として備蓄されるものですが、毎年これの運用益の50%がやはりDDFとWFに分配されて返還金に加算されます。こうして得られたDDFは国際親善奨学生度マッチング・グラント補助金、研究グループ交換(GSE)の助成金として使われますが、そのDDFの20%は地区補助金としてプロジェクトの計画書と共に地区の同名委員会で申請審査されクラブが受けることができます。クラブレベルの奉仕活動が財源難に苦しむ今日、各クラブが関心を持っていただきたい制度です。

その他特に海外クラブとの大型共同プロジェクトに対してはマッチング・グラントという補助金制度がありますので研究に値すると思います。ロータリー財団のプログラムには他に国際親善奨学制度があります。地域内の大学生、大学院生、職業上の研究を希望する人を発掘しクラブから地区に推薦して下さると近未来の指導的国際人をクラブで育成することができます。

GSEは今年もフランスのローヌ・アルプ・モンブラン地区と交換をするそうです。次年度はカナダになるとのことですが、若い専門家を交換してそれぞれの地区で専門分野に応じた固有の文化、制度、技術などを学ばせることができます。人材を見つけて推薦するといいいですね。

奉仕は言うまでもなくロータリーの主目的です。これがない仲よし団体では今や志に燃える若いロータリアンをクラブにつなぎ止める事が難しい。退会の原因、会員維持の困難な原因は社会情勢の悪化のみではないかと思えます。3大原因は(1)クラブに指導性がない。(2)クラブに魅力がない。(3)志を持って入ったがクラブに奉仕のプロジェクトがない、ということであるとRIは検証しております。奉仕はただ施すことではありません。ロータリーの綱領にあります。理念や理想を示しているものではないことに気がつきます。ロータリーは実践哲学、飢えている人に魚を一匹差し上げればその人の飢えは満たされます。その人に魚を採る術を教えてあげれば、その人は一生飢えから救われます。



エジプトのスイーワの住民は、アレクサンドリア・マリオウト・ロータリー・クラブのおかげで壮大な景色をはっきり見えるようになりました。昨年、同地域にわたった眼科医の一行は、130名以上の患者を治療し、23件の手術(このうち19件は白内障手術)を実施しました。

遠隔地、サハラ砂漠のオアシスでは、地元の病院も他の医療グループも眼科手術を提供していないため、今回で4年目になるこの医師団こそ、住民にとって眼科手術を受ける唯一の機会だと、モハメッド・アブデル・ガワド2006-07年度クラブ会長は説明します。4年前にクラブがスイーワにチームを派遣し始めて以来、白内障患者数が大きく減少したのを会長は目の当たりにしてきました。

「2003年には、57件の白内障を治療しました。2004年には、36件に減り、昨年はわずか19件でした」とアレクサンドリア大学の整形外科学教授であるガワド会長は語ります。

17名の医師、5名の看護師、4名の医学生、2名の薬剤師、1名の技師からなるこのチームは、眼科診療のほかにも、歯科、内科、整形外科、小児科など、多くの分野で貢献してきました。ポリオの予防接種も100人の子供たちに行ないました。「Health for All(万人の健康)」と名づけられた12月11日～15日のイベント中に、医師団は合わせて1,279人の患者を治療し、86件の手術を行いました。

アレクサンドリア・マリオウト・クラブは、医師団の経費として、40,000エジプト・ポンドを寄付し、医師等は各自の時間と専門知識を無償で捧げました。1名をのぞく全員がアレクサンドリア大学所属で、4名はアレクサンドリア、アレクサンドリア・マリオウト、アレクサンドリア・ラムシの各ロータリー・クラブのロータリアンでした。

アレクサンドリア・マリオウト・クラブとゲジラ・スポーツ・ロータリー・クラブの会員、およびアレクサンドリア・マリオウト・ローターアクト・クラブのローターアクターが医師団に同伴し、患者の登録、薬剤の配布、ホテル宿泊や食事の手配などを援助しました。

「困っている人々がより健康になって、より良い人生を楽しめるよう助けることは、ロータリーのような非政府組織の役割です」とガワド会長は語ります。



スイーワの「万人の健康」医師団の活動として子供たちにポリオの予防接種を行なうアレクサンドリア・ラムシ・ロータリー・クラブ(エジプト)のアーメド・アムル・アバシさん。

今週行事

12月6日(木)

クリスマス家族会18:00～

場 所: ヒルトン名古屋5階「銀扇の間」

次週行事

12月13日(木)

第3回クラブフォーラム(年次総会)